高等学校 令和５年度（２年次用） 教科　音楽　　科目 ソルフェージュ

教　科：音楽　　科　目：ソルフェージュ　　単位数：　2　単位

対象年次組：第　2 年次　4 組

使用教科書：（ 単旋律課題曲集、複旋律課題曲集、和声課題曲集

使用教科書：（ 単旋律課題曲集、複旋律課題曲集、和声課題曲集

Chorübungen、新曲の森、リズムの練習、NoelGallon、新曲視唱(国立音楽大学編）、Roughon　）

教科　音楽　　の目標：

【知識及び技能】　音楽に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに，表現意図を音楽で表すために必要な技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　音楽に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ，音楽の表現内容を解釈したり音楽の文化的価値などについて考えたりし，表現意図を明確にもったり，音楽や演奏の価値を見いだして鑑賞したりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】　主体的に音楽に関する専門的な学習に取り組み，感性を磨き，音楽文化の継承，発展，創造に寄与する態度を養う。

科目　ソルフェージュ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
視唱，視奏及び聴音に関する知識や技能を身に付けるようにする。	音楽を形づくっている要素の働きやその効果などに関する思考力，判断力，表現力等を育成する。	音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を大切にする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 歌	表現 器	表現 創	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
	A　聴音① 【知識及び技能】 音を連ねたり重ねたりしたときの響きや音型、和声等を理解し、譜表に記譜する基礎的な能力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 旋律や和声を知覚し、それらの働きを感受しながら、調性感やリズム感をもって音楽を聴き取る。 【学びに向かう力、人間性等】 旋律やリズム、和声との関わりに関心を持ち、聴音の活動に主体的に取り組む。	・指導事項 ピアノ生演奏による基本的な単旋律、複旋律、和声聴音、様々な楽器による聴音 ・教材 単旋律課題曲集、複旋律課題曲集、和声課題曲集				○	【知識・技能】 音を連ねたり重ねたりしたときの響きや音型、和声等を理解し、譜表に記譜する基礎的な能力を身に付けている。 【思考・判断・表現】 旋律や和声を知覚し、それらの働きを感受しながら、調性感やリズム感をもって音楽を聴き取っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 旋律やリズム、和声との関わりに関心を持ち、聴音の活動に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	22
	聴音テスト					○		○	○		1
	B　新曲視唱① 【知識及び技能】 音楽を構成する諸要素の基本的事項を理解し、読譜力を高める。新曲視唱に必要な発声の基礎と、基本的なリズム様式を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 旋律やリズムを知覚し、それらの働きを感受しながら、調性感、和声感、リズム感を持った音楽表現をする。 【学びに向かう力、人間性等】 旋律やリズムの変化と、それらが生み出す曲想との関わりに関心を持ち、新曲視唱の活動に主体的・協働的に取り組む。	・指導事項 発声の基礎、新曲視唱、指揮を伴ったリズム視奏、ピアノ伴奏つき新曲視唱 ・教材 Chorübungen No.33～No.46 Roughon 新曲の森 リズムの練習 P32～P41 Noel-Gallon　No.1～No.15	○	○			【知識・技能】 音楽を構成する諸要素の基本的事項を理解し、読譜力を高める。新曲視唱に必要な発声の基礎と、基本的なリズム様式を身に付けている。 【思考・判断・表現】 旋律やリズムを知覚し、それらの働きを感受しながら、調性感、和声感、リズム感を持った音楽表現をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 旋律やリズムの変化と、それらが生み出す曲想との関わりに関心を持ち、新曲視唱の活動に主体的・協働的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	新曲視唱テスト、リズムテスト		○					○	○		2
後期	C　聴音② 【知識及び技能】 各課題の調性や拍子を理解し、正確な音程やリズム、音価、和声を記譜する。調性に沿った臨時記号を選択し、あらゆる譜表ですばやく記譜する力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 旋律や和声を知覚し、それらの働きを感受しながら、調性感やリズム感をもって音楽を聴き取る。 【学びに向かう力、人間性等】 旋律やリズム、和声との関わりに関心を持ち、聴音の活動に主体的に取り組む。	・指導事項 ピアノ生演奏による基本的な単旋律、複旋律、和声聴音、暗記聴音、様々な楽器による聴音 ・教材 単旋律課題曲集、複旋律課題曲集、和声課題曲集				○	【知識・技能】 各課題の調性や拍子を理解し、正確な音程やリズム、音価、和声を記譜している。調性に沿った臨時記号を選択し、あらゆる譜表ですばやく記譜する力を身に付けている。 【思考・判断・表現】 旋律や和声を知覚し、それらの働きを感受しながら、調性感やリズム感をもって音楽を聴き取っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 旋律やリズム、和声との関わりに関心を持ち、聴音の活動に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	22
	聴音テスト					○		○	○		1
	D　新曲視唱② 【知識及び技能】 音楽を構成する諸要素の基本的事項を理解し、読譜力を伸ばす。新曲視唱に必要な発声の基礎と、様々なリズム様式を体得する。 【思考力、判断力、表現力等】 旋律やリズムを知覚し、それらの働きを感受しながら、旋律の方向性や抑揚を持った音楽表現をする。 【学びに向かう力、人間性等】 旋律やリズムの変化と、それらが生み出す曲想との関わりに関心を持ち、新曲視唱の活動に主体的・協働的に取り組む。	・指導事項 発声の基礎、新曲視唱、指揮を伴ったリズム視奏、ピアノ伴奏つき新曲視唱 ・教材 Chorübungen　No.45～No.71 Roughon 新曲視唱（国立音楽大学編） リズムの練習　P42～P46 Noel-Gallon No.16～No.30 Cent Rythmes　No.1～No.5	○	○			【知識・技能】 音楽を構成する諸要素の基本的事項を理解し、読譜力を伸ばす。新曲視唱に必要な発声の基礎と、様々なリズム様式を体得している。 【思考・判断・表現】 旋律やリズムを知覚し、それらの働きを感受しながら、旋律の方向性や抑揚を持った音楽表現をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 旋律やリズムの変化と、それらが生み出す曲想との関わりに関心を持ち、新曲視唱の活動に主体的・協働的に取り組んでいる。	○	○	○	10 合計
	新曲視唱テスト、リズムテスト		○					○	○		70